

たいいく

令和元年6月 第115号

松山市小学校体育連盟

発行者 松本 賢司

松山市小学校総合体育大会（すもう）結果報告

【男子】 Aブロック：姫山会場 Bブロック：雄郡会場 Cブロック：椿会場

部 門	ブロック	第1位	第2位	第3位	第3位
団体の部	A	五明小	北条小	和気小	伊台小
	B	東雲小	双葉小	湯築小	たちばな小
	C	石井東小	浮穴小	北久米小	さくら小
4年生の部 (個人の部)	A	上田 蓮斗 (和気)	佐伯 魁成 (潮見)	松井 大河 (和気)	西尾 唯人 (姫山)
	B	本田 悠喜 (生石)	井上 叶夢 (生石)	栗本 拓弥 (生石)	吉川 夢真 (生石)
	C	伊勢 元春 (石井東)	松岡 奏翔 (久米)	小川 晃誠 (小野)	原口 琳仁 (荏原)
5年生の部 (個人の部)	A	竹田 龍登 (栗井)	中原 将太 (栗井)	門田 龍海 (栗井)	得居 飛翔 (河野)
	B	土居 尚弘 (たちばな)	野間 大瑚 (宮前)	神野 秀真 (湯築)	山下 蒼生 (湯築)
	C	西本 翔一 (福音)	石井 貫太 (石井)	仁木 彪雅 (荏原)	山本 嘉昭 (小野)
6年生の部 (個人の部)	A	加藤 翔太 (伊台)	白地 佑成 (和気)	星加 憲吾 (湯山)	佐伯 颯大 (久枝)
	B	吉岡 颯 (味酒)	乗松 志優汰 (三津浜)	川本 一輝 (附属)	梶岡 利玖 (たちばな)
	C	相原 大河 (坂本)	中村 夢路郎 (石井)	西岡 侑汰 (荏原)	日野 巧都 (久米)

【女子】

部 門	ブロック	第1位	第2位	第3位	第3位
団体の部	A	堀江小	河野小	北条小	姫山小
	B	興居島小	清水小	生石小	味生小
	C	余土小	福音小	北久米小	荏原小
4年生の部 (個人の部)	A	長澤 明咲 (堀江)	高岡 愛海 (高浜)	正岡 咲耶 (河野)	篠原 千星 (難波)
	B	兵頭 優都妃 (生石)	西村 愛結 (湯築)	池田 琴音 (八坂)	東 紫妃 (東雲)
	C	上田 詩織 (石井北)	有馬 千織 (余土)	戸川 珠 (椿)	黒木 琴心 (石井東)
5年生の部 (個人の部)	A	重野 夢芽 (堀江)	高橋 咲花 (北条)	大谷 香遥 (伊台)	相原 陽向 (堀江)
	B	片山 なるみ (雄郡)	山崎 千紗都 (雄郡)	渡部 名似 (東雲)	阿久澤 夢希 (興居島)
	C	松木 広菜 (荏原)	渡邊 千悠 (荏原)	岡部 真歩 (桑原)	大石 胡桃 (桑原)
6年生の部 (個人の部)	A	吉野 綾 (正岡)	高須賀 月乃 (河野)	金井 杏樹 (北条)	山浦 悠香 (高浜)
	B	福永 千夏子 (湯築)	スジュ 清心 (附属)	永野 温紀 (道後)	東 葵妃 (東雲)
	C	宇都宮 美空 (余土)	百済 光香梨 (福音)	今井 姫心華 (福音)	長友 明日香 (垣生)

令和元年度 松山市小学校体育連盟の研究について

松山市小学校体育連盟

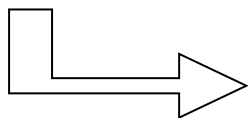
研究専門部長 河野 幹大

今年度は研究サイクルの初年度ではありますが、これまでの研究成果を鑑み、松山市小学校体育連盟の研究主題は、「**分かる・できる楽しさや喜びを仲間と共有し、夢中になって活動する愛顔^{えがお}いっぱいの子どもを育てる**」としました。「わからない」ことが「わかる」ように、「できない」ことが「できる」ようになるということは、学習する上でこの上ない喜びであると思います。その「喜び」を全ての子どもに感じさせるため、「つながり」をキーワードとし、研究に取り組みます。そして、様々な手立てを考えることで、夢中になって活動する愛顔^{えがお}いっぱいの子どもを育てていきたいと考えます。

今年度も昨年度に引き続き、9ブロックを大きく三つの研究グループに分け、授業力向上に取り組んでいきます。研究の視点及び研究グループについては、以下のとおりです。研究の視点については、「教材との出会い」「協働的な学び」「学びの連続性」の3本柱を軸とし、体育学習を通して、「愛顔^{えがお}いっぱい」の授業から、「愛顔^{えがお}つながる体育学習」を目指して、研究を進めていきます。

研究主題

「わかる・できる」楽しさや
喜びを仲間と共有し、
夢中になって活動する
愛顔^{えがお}いっぱいの子どもを育てる



〈 研究の視点 〉

(1) 教材との出会い

- ・ わくわくするような教材との出会い
- ・ 誰もが挑戦したくなる教材・教具の工夫

(2) 協働的な学び

- ・ 課題に気付き、よりよい課題解決を図る場の工夫
- ・ 夢中になって、いきいきと学び合う学習形態の工夫

(3) 学びの連続性

- ・ 学びがつながる単元構成の工夫
- ・ 学びを実感することのできる学習成果の可視化

研究グループ①

研究実践校 椿小学校

授業実践者 教諭 千三木 美祐

研究領域

4年生 走・跳の運動

実施日 11月13日

研究グループ②

研究実践校 未定

授業実践者 未定

研究領域

走・跳の運動（遊び）・陸上運動

実施日 未定

研究グループ③

研究実践校 小野小学校

授業実践者 未定

研究領域

ゲーム・ボール運動

実施日 未定

昨年度までは、「走・跳の運動（遊び）・陸上運動」領域、中でも「走の運動」を中心に研究を進めてきましたが、新しい研究サイクルに入り、今年度からは「跳の運動」を中心に研究していきます。

研究グループ①及び②では、「走・跳の運動（遊び）・陸上運動」領域の「跳の運動」を中心に研究実践に取り組みます。研究の初年度ということもあり、夢中になって活動する子どもを育てるために、具体的にどのような実践をすることができるか模索しながら積極的に研究を進めます。

研究グループ③では、「ボール運動領域」を継続的に研究します。また、今年度は全国学校体育研究大会の研究校に指定されている小野小学校と連携し、研究を深めたいと考えています。これまでの研究の成果と課題を踏まえ、さらなる高みを目指していきます。

各研究実践の際には、是非、ご参観いただき、多くの先生方からのご意見やご指導を頂きたいと考えております。それを松山市の子どもたちに還元するとともに、今後の研究に生かしていきたいと思っております。松山市の子どもたちに愛顔^{えがお}があふれるよう、先生方もご協力よろしくお願いいたします。

泳力アップを目指して

～ バタ足編 ～



パターン①：下半身が沈んだ状態でバタ足している子ども

まずは、体を浮かばせるようにする指導が必要です。ビート板を持ってバタ足の練習をすると、どうしても下半身が沈みがちになってしまうので、ビート板を持たず、伏し面で練習すると下半身が沈みにくくなります。水中ではあごを引く、おへそを見るなどの指導も同時に行いましょう。